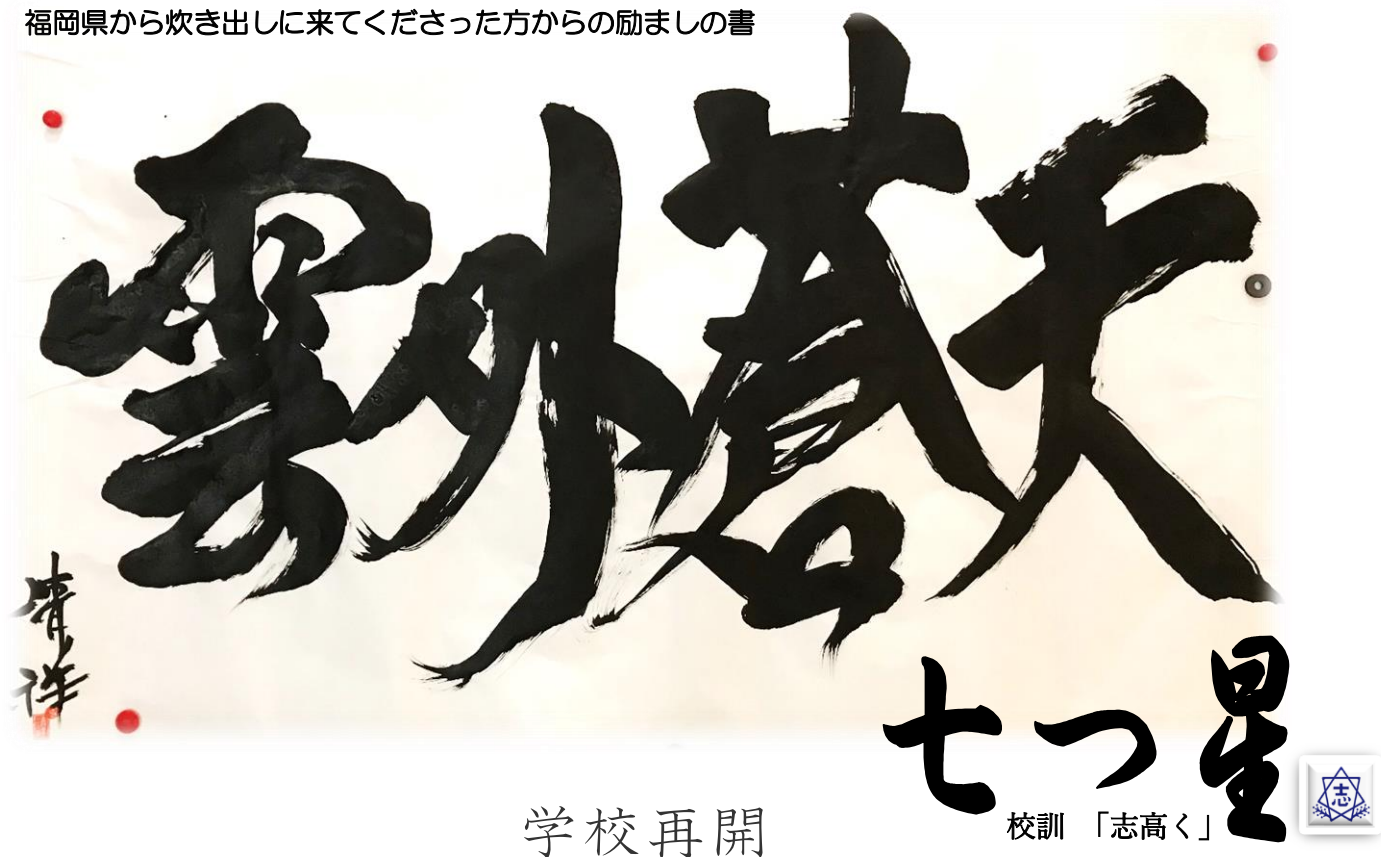


福岡県から炊き出しに来てくださった方からの励ましの書



学校再開

校訓「志高く」

校長 前田 倍成

本当にたくさんの方々の支援を受け、1月22日（月）、志賀町立志賀小学校は、3学期の始業式を迎えることができました。

多くの子どもたちは安堵の表情を見せてくれますが、中にはまだ怖さや不安を抱えたままの子どもたちも少なくありません。それでも、本校の子どもたちがみな無事であったことを、わたしはなによりもうれしく思い、心から感謝しています。

町全体をみれば、まだ復旧の見通しすらつかないところもあるようです。住民の方々が大変な不安と不便さの中で生活されている状況に、ことばも見つからないほどです。

そんな中、今日の志賀小学校の再開が、志賀町復興に向けての大きな先駆けとなり、また地域の方々にとっても一つの明るい兆しとなることを願ってやみません。

上の写真にある「雲外蒼天（うんがいそうてん）」の書は、福岡県から志賀町へ炊き出しボランティアに来てくださっていた方よりいただいたものです。文字通り、雲の外には青空が広がっているように「困難を努力して乗り越えた先には、明るい未来がある」というとてもありがたい励ましのことばです。全校集会でも、子どもたちに書とともにこのことばを紹介しました。家族、地域の人たちなどの身近な人々はもちろん、全国の多くの人々の支え励ましに対する感謝の気持ちを忘れないこと、そして今後わたしたちが命を大切に元気に生活していくことが恩返しになると話しました。

今日の学校再開のためにご尽力いただいたみなさま、そして子どもたちを無事学校へ送り出してくださったご家族のみなさまにも、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

